

摂津市立千里丘小学校校舎整備工事に関する Q&A

【工事作業関係】

Q 1 建替え工事のスケジュールについて

⇒令和 5 年度 7 月より既存プール等を解体し、仮設校舎を建設します。

その後、令和 6 年度から令和 9 年度にかけて既存校舎の解体、新校舎の建設を順次繰り返し、令和 10 年度 4 月より新校舎での全体運用を開始する予定です。

Q 2 解体、基礎工事の詳細時期（騒音・振動）について

⇒詳細のスケジュール等につきましては、掲示板等で随時お知らせします。

なお、今回の基礎工事につきましては、地盤柱状改良工法（現地の土とセメントを混合して、柱状の補強体を築造）を採用するため、杭打ち工事と比較し、低振動・低騒音で施工ができるものになります。

Q 3 工事期間中の児童の安全確保について

⇒基本的な安全対策として、工事作業エリアと児童活動エリアを分離して区画します。

また、工事車両の入場時間は登下校時間に重ならないよう配慮するとともに、交通誘導員を常駐する等の対策を実施します。

Q 4 既存校舎解体 I や校舎棟（I 期棟）建設時の既設学童までの動線はどうなりますか。

⇒工事箇所北側部分に学童保育室動線用の仮設通路を設ける予定です。

Q 5 児童の教育活動の保障について（騒音、振動の軽減策について）

⇒工事の騒音が全くないとは言えませんが、最大限の騒音対策（防音シート）を施すとともに、騒音工事のタイミングと学校カリキュラムとの調整など、できる限り児童への影響が出ないように対応します。

Q 6 騒音等工事を避けてほしいタイミングについて

⇒現場代理人（06-6372-5953）までご連絡いただき、可能な限り調整を図ります。

Q 7 工事車両（北・東・西側の生活道路）について

⇒南側（府道側）を工事車両のメイン動線とし、その他については極力使用しないよう検討します。ただし、資材搬入等でスポット的に使用する場合があります。

Q 8 仮囲い高さ（3mでは低い、粉塵等対策には不十分）について

⇒解体・騒音等の状況に応じてシートの増し貼り等も検討します。

なお、解体時の建物廻りについては、シート養生を行う予定です。

Q9 クレーン旋回範囲（児童・住宅エリアが範囲内）について

⇒令和6年7月の工事説明会資料（図面）で示しているのは、クレーンの最大旋回範囲です。現場作業で児童・住宅エリアの上空を旋回することはありません。

Q10 工事掲示板、振動、騒音計の設置について

⇒北側、南側の2箇所に設置する予定です。

Q11 夏季、冬季での作業時間の変更（冬場は日が落ちる時間が早いため）について

⇒工事の進捗状況等を踏まえながら、検討します。

Q12 千里丘朝日が丘線道路新設事業による影響について

⇒当該道路工事については、吹田市の担当課に情報確認しており、引き続き詳細の工事時期（通行止めの発生等）等を確認します。いずれにしても当該道路工事期間も含め、本工事では南側（府道側）工事車両のメイン動線とし、周辺的生活道路に渋滞等が生じないように対応します。

摂津市立千里丘小学校校舎整備工事に関する Q&A

【新校舎関係】

Q1 新校舎と現校舎の高さ（北側）について

⇒校舎棟（Ⅱ期棟）は3階建てであり、現状とほぼ同じ高さになります。

校舎棟（Ⅰ期棟南側）は5階建て（屋上プール）で、最高高さ22.1mになります。

Q2 日当たり（北側）について

⇒建築確認申請手続き時に検討を行い、建築基準法（日影規制）に適合しております。

日影図につきましては、市HP上で公開しております。）

以下 URL に資料を掲載しております。

<https://www.city.settsu.osaka.jp/soshiki/kyouikusoumubu/kyouikusei/sakuka/sennriokasyougakkouseibi/24523.html>

Q3 屋上プール水面の照り返しについて

⇒対応策として、周囲に目隠しルーバーを設置する計画としております。

Q4 エレベーターは設置されますか。

⇒校舎棟（Ⅰ期棟）に1基設置する予定です。

Q5 正門の位置は、新校舎完成後も変わらないですか。

⇒現状と同じ歩道のある南側道路側（大阪高槻京都線）に設ける予定です。

Q6 今回の建替え工事は、校舎のみの工事ですか。

⇒外構関係含めて整備する予定で考えております。

Q7 新体育館で卒業式を実施する場合、どの学年より利用できますか。

⇒校舎棟（Ⅰ期棟）は、令和7年度中の完成を予定しておりますので、現4年生の卒業式のタイミングでは利用可能と考えております。

Q8 新体育館には冷暖房設備が設置される予定ですか。

⇒設置する予定です。

Q9 運動場は、体育の授業ができるスペースを確保されますか。

⇒50m走など、体育の学習指導上に必要なスペースは確保するようにしております。

Q10 既存遊具は、撤去された後に仮置きされるのですか。

⇒学習指導上に必要となる最低限の遊具は、一時的に移設して利用する形になります。

Q11 現在、運動場の水はけが悪く、困ることがありますが、改善されますか。

⇒運動場も整備予定です。

Q12 給食について、これまでと同じよう千里丘小学校で調理して提供されますか。

⇒これまでと同じように提供します。

Q13 現在、学年で配置階が異なる場合がありますが、今後も同様の状況が続きますか。

⇒今後の学年毎のクラス数によるとは思いますが、教室数が限られているため、今後も同様の配置（学年で配置階が異なる）となる可能性もあると考えられます。

摂津市立千里丘小学校校舎整備工事に関する Q&A

【アスベスト関係】

Q1 アスベスト調査について

⇒専門業者による調査を実施しております。

Q2 確認されたアスベスト含有建材について

⇒石綿煙筒パイプ（レベル2）が4箇所ございます。（東側校舎）

その他、天井・床等の内装材（レベル3）に含有があります。

いずれも管轄官庁の指導に従い、法令の規定に基づき届け出を行い、適正な工法で処理します。

Q3 アスベスト除去作業時の空気中の濃度測定を実施するのか。

⇒実施します。

摂津市立千里丘小学校校舎整備工事に関する Q&A

【家屋調査関係】

Q 1 家屋調査の範囲について

⇒学校と対面する道路を隔てた1軒目の家屋等までを調査対象としております。

Q 2 家屋調査の希望について

⇒一般的に家屋等に被害が想定される影響範囲のひとつの目安として「45度ルール」がございます。「45度ルール」では、掘削底（最深改良底）から仰角45度の延長線で地表と交わる範囲を影響範囲と想定し、当該範囲に含まれる家屋等を調査対象とするものでございます。

今回、千里丘小学校校舎整備工事におきましては、「45度ルール」の範囲以上に、以前の旧味舌小学校解体時と同様に千里丘小学校と対面する道路を隔てた1軒目の家屋等までを調査対象としております。

Q 3 令和5年度実施のプール解体工事の際の家屋調査について

⇒当該工事の際は、「45度ルール」に基づき、該当家屋の調査を実施しました。

摂津市立千里丘小学校校舎整備工事に関する Q&A

【現場作業員関係】

Q1 職人の駐車場について

⇒周辺の有料コインパーキング等を利用する予定です。

Q2 職人の喫煙について

⇒現場内（学校敷地内）での禁煙を徹底します。

また、敷地外での喫煙においても、ルールを遵守し、ご迷惑をお掛けしないようにします。

Q3 工事トラックの待機場所について

⇒近隣等含め迷惑が掛からないよう、現場入場業者と協議し、検討します。

Q4 職人が使用するトイレについて

⇒職人専用トイレを設け、児童用トイレと分けて使用します。

摂津市立千里丘小学校校舎整備工事に関する Q&A

【その他】

- Q 1 工事期間中において、例年実施している学校行事はどの程度実施できる予定ですか。
⇒新しい体育館が完成するまでは既存体育館を残すため、体育館で実施している行事は基本的には実施できると考えております。
運動会については、運動場スペースが限られてしまうことから、千里丘小学校で現在と同じ規模、内容で運動会を実施することは難しいと考えており、学校や関係課と協議、検討します。(令和6年度は明和池公園で運動会を実施予定)
- Q 2 学校体育施設開放事業に関する利用制限等がありますか。
⇒工事期間中の学校体育施設開放事業については、担当課である生涯学習課と情報共有をし、どういった開放ができるか検討しているところです。
体育館は新旧どちらかの建物を利用できる状況ですが、運動場については、工事作業ヤードを確保するため、スペースが限られてしまうことから、利用が制限される可能性もあると考えられます。
いずれも詳細が決まり次第、担当課の生涯学習課よりご案内する予定です。
- Q 3 学童入室児童も増えると思いますが、学童保育室も増えますか。
⇒既存プレハブ棟に加え、新增築校舎内にも学童保育室を確保する予定です。
- Q 4 既存プレハブ学童棟の建て替えについて
⇒当該工事での建て替え等の予定はありません。
- Q 5 南西側の新設キュービクルについて
⇒仮設校舎用として使用しているため、仮設校舎解体時(令和9年下半期頃を予定)に撤去します。
- Q 6 今後、クラス数はどの程度増える見込みですか。
⇒ピーク時には、1学年あたり5クラスとなり、最大30クラス(5クラス/学年×6学年)まで増加すると見込んでおります。
- Q 7 今後、第三中学校(進学先)の教室は不足しないですか。
⇒第三中学校においても教室が不足する可能性はあります。今後の子どもの数の推移を確認しつつ、必要な対応について検討していきます。
- Q 8 千里丘小学校での建替えてはなく、旧三宅小学校を活用するのはどうか。
⇒小中学校通学区域等審議会でも様々な議論を経た中で、千里丘小学校敷地内で施設整備を行うことが適当であるとの答申をいただき、方針を決定した次第です。

摂津市立千里丘小学校校舎整備工事に関する Q&A

【情報発信関係】

Q1 工事工程等の情報発信について

⇒現場の掲示板での周知のみならず、適宜、市 HP での情報発信等を行います。

Q2 開発協議基準に基づく近隣説明等について

⇒開発区域周辺の近隣説明等につきましては、R5.1 月頃に千里丘小学校区の各自治会長への説明及び保護者説明会を実施、また R5.7 月頃に工事概要を示したチラシを自治会回覧板で回覧及び自治会掲示板での掲示などを実施しております。
また、市 HP において工事概要等を掲載し、情報発信しております。

Q3 定期的な工事の進捗状況などが分かる資料の配付（丁寧な情報発信）について

⇒市 HP、掲示板等での情報発信を行う予定で考えております。

Q4 来年度入学予定である新一年生の保護者に対しても、情報共有してほしい。

⇒学校とも相談しながら、周知を行います。